

気持ちを伝える

若井啓太

私はまだ女性に花を贈ったことがありません。日本は外国に比べ花を女性に気軽に贈ることができない文化になってきています。贈るときは大切な人に告白や、プロポーズをするときくらいです。

先日、夜遅くに電車に乗っており、ふと周りを見るといろんな人がいました。泥酔し、看病されている人、音楽を聴いている人、勉強している人、本を読んでいる人、これから遊びに行こうという人、居酒屋帰りのおじさんたちなど、たくさんの方が電車の中にはいます。

その中に一人スーツの男性がいました。手には大きな黄色の明るい花束を持っていました。私にはその人が輝いて見えました。一目でこの人は大切な人に花を渡すんだなとわかり、幸せな気持ちになりました。そして、駅を降りると真っ先に女性に花を手渡していました。渡された女性は恥ずかしそうでしたが、とてもうれしそうでした。女性だけでなく、男性、周りで見ていた人たちも祝福するような明るい表情でした。

花は、渡された人を幸せな気持ちにします。日本だとなおさら「本気であなたのことを思っています。」という言葉では伝えづらいメッセージも同時に相手に伝えることができます。そして、渡された人だけでなく渡した人、また周りの人間さえも巻き込んで幸せな気持ちにしてしまいます。私も、いつか「本当に大切な人に花をおくろう。」と思えた瞬間でした。